

---

# 暖かい雨

mmo

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

暖かい雨

### 【コード】

N5326E

### 【作者名】

mmo

### 【あらすじ】

何もしなければ、全てのモノは風化し、風にこすれもげ落ち消えていきます。

その日から、彼女は食事をやめました。

食べ物を見ただけで、何も無い胃が逆流してくるので、彼女の家に食べ物はありません。

なら僕も一緒にと。  
彼も食事を止めました。

もう何日経ったろう。  
この頃睡眠の回数が増えてきて、  
頭がボーっとして、  
今が昼か夜かもわかりません。

ああ、雨だ・・・

水の中に居るような温さ。  
睡眠の回数が増えた事もあり、  
布団の中に居ることも多くなり、  
エッチの回数も増えました。  
ただ頭がボーっとして、  
感じているかどうかも解りません。  
ただ、白く暗い顔が少し赤くなっていることだけ解ります。

触れ合う私たちの体は、  
とても冷たかった。

彼は私の浮き出た骨にキスをしてくれます。  
無くなった胸にも、切り落としたようなお尻にもキスをしてくれます。  
ただ、彼の唇はもう赤くなくて、  
枯れてて、こそばゆいだけです。  
時々枯れた唇が裂けて血が出て。  
私の体に小さな血のキスマークをつけて行きます。

もうこの頃互いに服は着ていません。  
重くて……。

恥かしさや緊張を通り越してしまえば、  
気持ち良くは無いです。

エッチは。

触ったり突っ込んだりかき回したり、  
時には互いに傷つけあっても、

やっぱり気持ち良くはないんです。

小さな刺激がそこにあるだけで、

それが気持ちいい気持ちいいって思い込んでいるから・・・  
何でしたっけ？ パプロフの犬でしたっけ？

ああ、頭がボーっとしてきました。

また寝ます。

彼が、

たまには雨が降っている間だけ起きていようと仰いました。  
ごめんなさい、寝ます。

この頃夢を見ないので、

ズーツと起きている様な感覚です。

ズーツと現実にいるような気がして。

なんだか、損した気分ですね。

私の浮き出たアバラとむ、しばんだお腹を見て。

なんだか楽器みたいだと彼は言ってきました。

自分も同じなくせに。

私は気分を害したので、

自分のアバラを彼のアバラに押し付けて上下に擦りました。

音は鳴りました、

でも雨音には負けず。

静かな雨音は何時だつて気持ちいい音色です。

エッチをしているとき。

お互い其処だけお肉が残っているんだねって言って、

笑いあいました。

もう二人はバケモノに近いのだと思います。

二人とも顔の骸骨がわかるぐらい変形してて・・・

そういえば私、えくぼがなくなりました。

彼も気に入ってくれてただけだな・・・

どどん雨が降り続き、

水が土の中で泳いでいるのを見ながら、

私たちはやせ細っていききました。

土はぶくぶくと膨れ上がって、

人を飲み込みます。

美味しい？

彼もエッチが気持ちいいものだと、感じなくなったみたいですよ。  
冷たい精液も出ません。

ただ二人で寄り添う時間を楽しむようになりました。

寄り添うとお互いの骨がぶつかって音が鳴るんですよ。  
でも私はちよつとつまらないです。

暖かい雨に触れなくなって、  
私は外へ出ました。

裸ですけれども感じません。

骨と骨の間の皮の膜に、  
雨だまりが出来て、  
それがとても重くて。

髪の毛が雨の重さに負け、  
どんどん抜けて行きます、  
彼が気に入っていた髪ですから少し残念です。

暖かい雨の中に居ると、  
なんだか頭がボーっとしてきて、  
眠くなってきました。

彼が起きていようと言いました。  
ごめんなさい、  
私寝ます。

彼も、

なら僕もと、

一緒に寝てくれました。

おやすみなさい。

あの・・・

私、顔赤いですか？



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5326e/>

---

暖かい雨

2010年11月23日02時44分発行